



【第2回北海道支部研究大会開催報告】

平成29年9月30日に実施しました2017年度第2回北海道支部研究大会は、北海道地区正会員及び地域企業や一般市民などに参加いただき、成功裏に終えることができました。

公開講演会「介護・医療連携による地域活性化の方策」では、特定分野のテーマであるにもかかわらず、約40名のご参加をいただき、充実した講演会となりました。

今回は、喜茂別町長・菅原章嗣氏から地方自治体がおかれている状況や実情が語られ、課題解決に向けた実践的な取り組み状況について講話いただきました。



そして、社会福祉法人溪仁会理事長・谷内好氏からは、「地域包括ケアシステム」や「新しい地域支援事業の意味」などについて説明いただくとともに、喜茂別町の課題解決に向けた協力体制の整備について、具体的事例を交えながら講演をいただきました。



さらに、社会福祉法人溪仁会本部地域支援事業担当・細田高氏から、先の具体的な取り組み事業のうち、特に「後志4町村における遠隔健康支援事業」の進捗についてより詳しい説明及び報告をいただきました。



医療及び介護分野は、特別な背景を持ちながらも、直面した重い課題であり、北海道地域のみならず全国共通したテーマであることが明確になりました。

また、質疑応答・ディスカッションでは、講師陣3名の講話のあとに、ディスカッション形式で進められ、会場内の参加者の皆様から多くの質問や貴重なご意見をいただき、極めて中身の濃い会となりました。



講演いただいた3名の講師・発表者の皆さま、ご参加いただいた皆様、後援いただいた多くの機関・団体等の皆様に対し、厚くお礼申し上げ、簡潔ながら今回の報告といたします。

北海道支部長 能登谷 聡